

福祉の現場で働く人たちに、「うちの事業所はココが熱い！」魅力ややりがいをインタビュー！

常に「なぜ」を問う密度の濃い毎日

ふみ月チャレンジ染地 遠藤 愛弓さん

様々な体験を通して
生きるチカラを育む場

障害のある子どもの療育の場として調布で先駆ける存在の「ふみ月の会」に、異業種から転職して丸一年、という遠藤さん。

「メンバー一人一人としっかり向き合い、思春期ならではの難しさもある中で本人の意思をどう引き出し、自信を積み上げていくかを考えながら支援しています。その中で常に問われるのが、ふみ月で過ごす時間がメンバーの「人間

らしい充実した人生」にちゃんとつながっているだろうかということ。それを追求するために常に「なぜ」を考え続けるという姿勢が徹底しているのがうちのすごいところだと思っています。単に「トラブルなく」過ごすことが重要ではなく、楽しいことはもちろんトラブルも含めその方の成長や生活を豊かにする糧につながるものとして大切に、という考え方が事業所みんなに浸透していますね。上辺だけでは取り繕えない、常に人間力が試される毎日ですが、だからこそやりがいを感じます」



メンバー一人一人にしっかり向き合い信頼関係を育みます。



ふみ月チャレンジ染地
障害のある中・高校生を対象に、多様な活動を通じて将来の自立につながる療育を提供する放課後等デイサービス。
調布市染地1-17-15
042-486-9901

「おいしい」を通して元気を
地域に開かれたレストラン

運営母体の「クッキングハウス」は、精神疾患を持つ方に食を通して交流の場を、と1987年にスタートしたNPO法人で、實川さんは唯一の男性スタッフです。「ここに来てから「待つ」ことを学びました。相手を傷つけない言葉遣いや優しい配慮が満ち、心を病んだ人が社会の厳しさではなく、別の価値観の中で少し元気になるような所。通い方もその方のペースに合わせていて、調理の下準備や盛り付けなど、できる範

囲でできることを、と臨機応変にやっています。営業終了後、全員でのティータイムの会話も大切に。活動に賛同してくれる会員が全国に多数おられ、その方々からの食材の寄付が運営の大きな助けです。自分は料理はまだまだなのですが、男性スタッフだからこそその力仕事は進んで担当(笑)。素人ですが、ドアノブや水道の蛇口を修理したりもします。ちょっとしたジョークで場を和ませることも得意ですかね。久しぶりに来たメンバーさんが少しでも笑顔を見せられる、そんな瞬間が本当にうれしいです」

笑顔を引き出すモードメーカーに
レストランクッキングハウス 實川 響太さん



人気の日替わりランチのメニューはメンバーと話し合っていて決めているそう。



レストランクッキングハウス
精神疾患を持つ人たちの地域生活の拠点として設立。自然食レストランのほか、2階に居場所や相談スペース、近隣にティールームも。
調布市布田1-10-5稲毛家ビル1F
042-488-6369

みんなにやさしいまち
ちょうふ

「障害のある人が利用しやすい」場所は誰にとってもやさしい場所。障害がある人に配慮がある施設やお店などをシリーズで紹介します。

障害のある方やご家族のための
旅行支援サービス

小島町 さくらツアーリスト

介護とトラベルヘルパー
社員全員が資格取得へ

調布市と事業提携した「いやしとふれあいの旅事業」でもおなじみ、市内の作業所のバス旅行も多く受託している旅行会社。

「地元」に密着した会社だからこそ、ニーズにより細やかに応えたいと思います。高齢の方や障害のある方も楽しめるバリアフリーな旅の提案に力を入れていきたいと思っています」と社長の新國政和さん。「旅程には介護資格がある添乗員が同行するほか、車椅子対応の昇降機付きバスや、障害のある方に配慮のある施設や交通機関の手配、お食事面の配慮まで全面的

にお任せください。たとえば医療的ケアなどの心配も、当社ならではのネットワークで現地の医療機関と連携した体制を取ることができ、ご要望に合わせてオーダーメイドの旅のご提案ができますので、ご家族旅行のプラン作成や同行支援、障害のあるご本人の一人旅のサポートなど、まずはお気軽にご相談を。ご自宅等への出張相談も承ります。旅行は人生の楽しみであり、栄養素のようなもの。障害や高齢を理由にあきらめてしまうことがないよう、当社では今後さらに万全なサポート体制を目指し、社員全員が介護とトラベルヘルパーの資格を取得する予定です」



お客様のご希望や必要な支援などお伺いし、最適な旅を提案。



市と提携のバスツアーは障害者手帳での助成あり。ぜひ利用を。



さくらツアーリスト株式会社
<https://sakura-tourist.co.jp/>
調布市小島町2-45-7 調布南ビル2F
042-482-0050

東京2020パラリンピック聖火リレーイベント



市内18カ所で聖火ビジット
コロナ禍に希望の光を灯して閉幕した東京2020パラリンピック競技大会。8月20日に、深大寺の護摩祈願の火など都内全62市区町村の火から生まれた東京2020パラリンピック聖火「東京都の火」が灯ったランタンが連絡会加盟の福祉事業所を含む18カ所に届き、「聖火ビジット」として展示を実施しました。
(写真上:「そよかぜ」でのランタン到着の様子)
FC東京あおぞらサッカースクールが到着式に参加
8月24日に代々木公園で開催された都内到着式に「FC東京あおぞらサッカースクール」in調布のスクール生とコーチがグループランナーとして参加しました。

Topics

調布市内の福祉作業所や放課後等デイサービスでは、ボランティアや職員の募集を行っている施設もあります。詳細は各事業所にお問い合わせください(本誌裏表紙に一覧)